

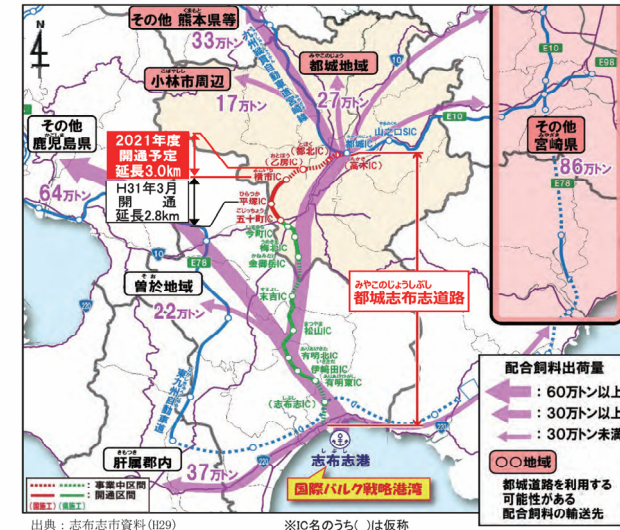
都城志布志道路の整備効果

効果1 物流の効率化

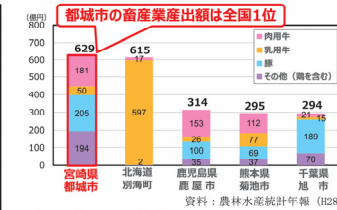
■都城市は畜産業が盛んな地域で畜産業産出額は約630億円と全国1位を誇っています。畜産に必要な配合飼料(家畜のえさ)は、志布志港周辺の工場で加工され、都城志布志道路を経由して畜産業者へ輸送されています。

■都城志布志道路の整備により、輸送時間が短縮されることで、安定的な配合飼料搬送が可能となり地域産業の活性化に寄与します。

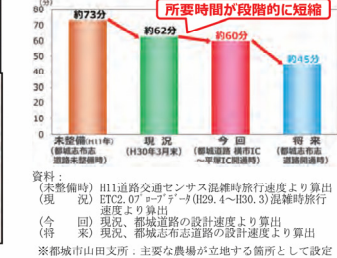
志布志港からの配合飼料の輸送先と出荷量



畜産業産出額（上位5位）



所要時間の変化（志布志港～都城市山田支所間）



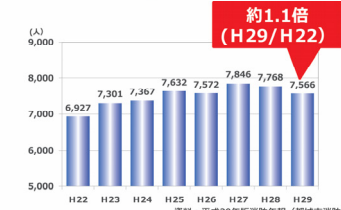
効果2 救急医療活動の支援

都城市の救急搬送者数は、平成22年に比べ約1.1倍の伸びを示しています。本路線の整備により、高次医療施設への搬送時間短縮が図られるとともに、搬送時の揺れや振動も抑えられ、患者の安静な搬送が期待されます。

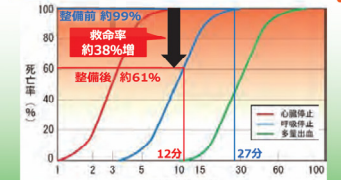
搬送ルート



救急搬送件数



カーラーの救命曲線（呼吸停止）



効果3 防災対策機能の強化

都城市は、大規模災害時における被災地での医療救護活動や、その後の復旧活動等を的確に行うための「後方支援拠点」を有しています。内陸部に位置する本路線の整備により、津波災害等による被災地へ展開するための道路として機能することが期待されます。

津波災害時の役割イメージ(都城市)



効果4 企業進出・雇用促進

■都城志布志道路の整備に伴い都城1Cと志布志港とのアクセス性が向上したことで、都城市では、平成23年度以降76社の企業進出があり、約2,300人の新規雇用が創出されました。

■都城1Cや志布志港周辺では、今後の道路整備により更なる企業進出が期待されることから、新たな工業団地の造成が進められており、企業進出による更なる雇用創出が図られ地域活性化が期待されます。

位置図



都城1C 付近の工業団地の立地状況



志布志港付近の整備状況



都城市の企業立地と新規雇用



国道10号

都城道路

地域高規格道路(都城志布志道路)



地域高規格道路

地域高規格道路とは、九州縦貫自動車道や東九州自動車道などの高規格幹線道路と一体となって地域相互の交通促進を図るとともに、空港・港湾等を結び物流の効率化等に寄与する自動車専用道路です。

都城志布志道路の開通を見越して、都城1C付近に工業団地が造成され、企業の立地やそれに伴う雇用も増える「ストック効果」が現れています。

ストック効果とは▼

道路などの社会資本を活用し、周辺で観光や工場の立地などによって、地域経済を活性化させること。

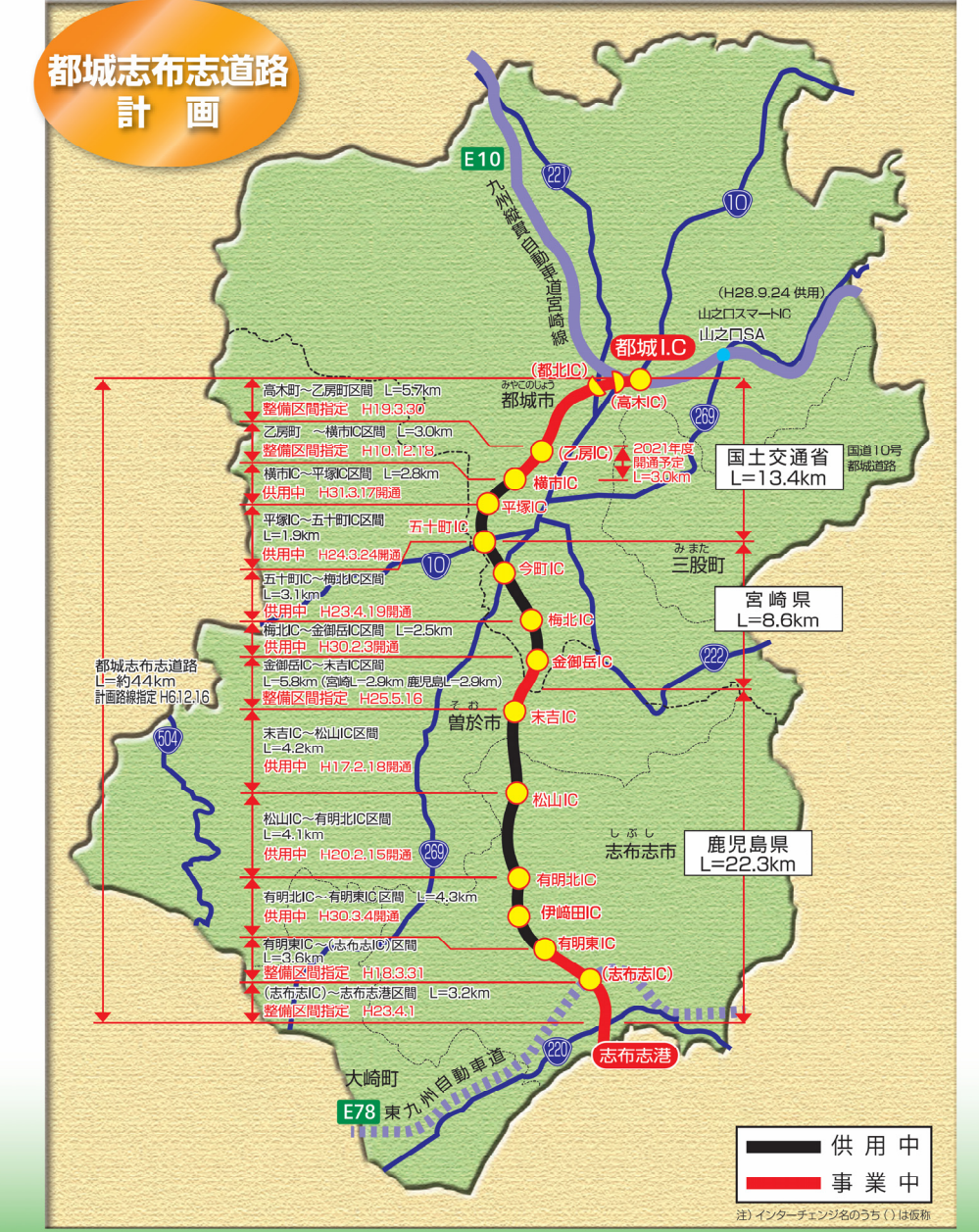
お問い合わせ 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

〒880-8523 宮崎市大工2丁目39番地 TEL0985-24-8221

ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/> E-Mailアドレス qsr-miyazaki@mlit.go.jp Facebookアドレス <https://www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp>

都城志布志道路の概要

都城志布志道路は、都城市を起点に曾於市を経由し志布志市に至る延長約44kmの地域高規格道路です。本道路の整備により、九州縦貫自動車道宮崎線都城ICと国際バルク戦略港湾である志布志港が結ばれ、広域ネットワークが形成され、所要時間が短縮することで、物流の効率化や救急医療活動の支援、防災対策機能の強化等が期待されます。



国道10号都城道路は、地域高規格道路 都城志布志道路の一部を構成する、延長13.4kmの自動車専用道路です。本道路の整備により、都城市街地を通過する国道10号の交通混雑緩和や沿道環境が改善され、災害時には国道10号の迂回道路として機能します。

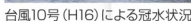
	都城道路	都城道路Ⅱ期
全体計画 区 間	(自)宮崎県都城市乙房町 (至)宮崎県都城市五十町	(自)宮崎県都城市高木町 (至)宮崎県都城市乙房町
延 長	約7.7km	約5.7km
道路規格	第1種第3級	
車 線 数	4車線(暫定2車)	
設計速度	80km/h(自動車専用道路)	
道路幅員	20.5m	

【一般部】
20.5(10.5)
1.75 7.0 3.0 7.0 1.75
下り (暫定供用)
上り (暫定供用)

【中小橋】
20.5(10.5)
1.75 7.0 3.0 7.0 1.75
下り (暫定供用)
上り (暫定供用)

【長大橋】
19.5(10.0)
1.25 7.0 3.0 7.0 1.25
下り (暫定供用)
上り (暫定供用)

●災害時の代替機能の確保
(冠水時の迂回路として機能)



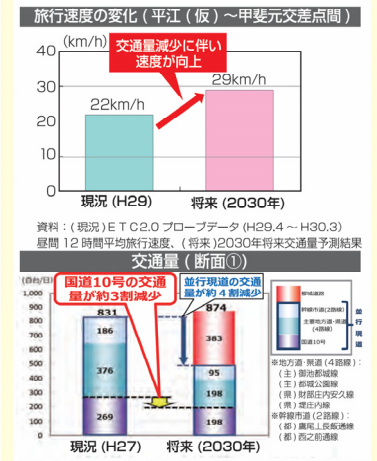
災害発生 年月日	被害状況(世帯)			被害額 (億円)	被災場所	国道10号 通行止め時間
	一戸破損	床上浸水	床下浸水			
H16.8.30	1	14	32	—	甲斐元 大岩田	3時間40分 5時間40分
H17.9.6	5	29	114	12.6億円	甲斐元 大岩田	1時間30分 14時間10分
H23.9.20	—	—	—	—	大岩田	4時間15分
H26.7.31	—	—	—	—	大岩田	1時間15分(片交)

●交通混雑の緩和

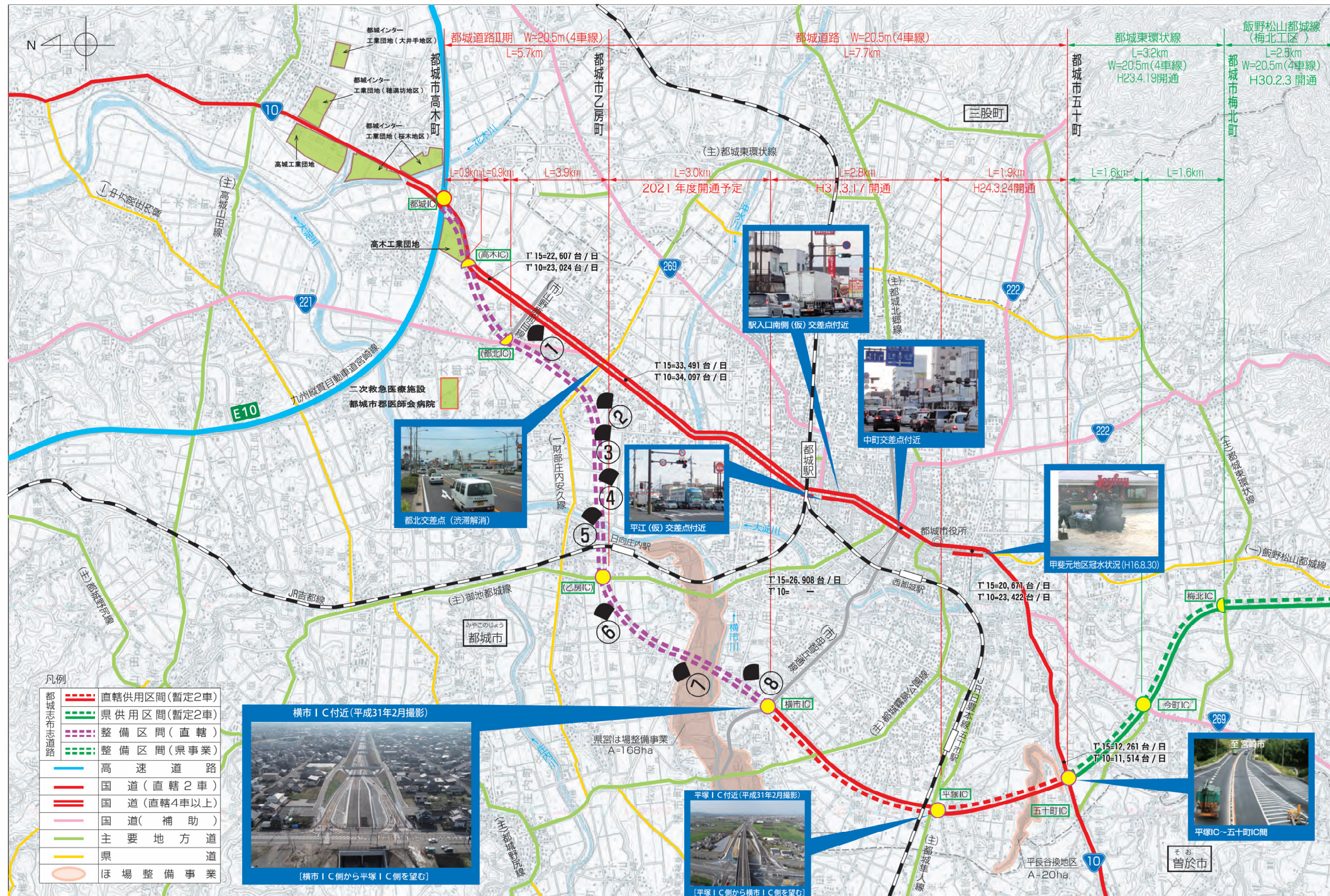
国道10号の交通が転換され

国道 10 号の交通が転換され

- ・ 旅行速度が 22km/h→29km/h
7km/h 速度が向上
- ・ 交通量が、26,900台/日→19,800台/日
7,100 台 / 日減少



資料：（現況）全国道路・街路交通情勢調査、（将来）交通量推計結果
都城道路、国道10号、並行現道6路線



注) インターチェンジ名のうち()は仮称 「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである(承認番号 平30情複、第1278号)



注) インターチェンジ名のうち()は仮称